福岡県立三潴高等学校 学校関係者評価 自己評価 学校運営計画(4月) 自己評価は 校訓を踏まえ、本校の課題を常に念頭に置いて、規律正しい豊かな人間性を持ち、主体的に学ぶ意欲と自らの未来を切り開く志を持った生徒を育成する。また、本年度のコンセプト「やってやろ (教育目標) |う! 『チーム三潴2021』」のもと、グローバル化した社会の一線で何事にも怯まず、逞しく活躍する生徒の育成に努める。 教育目標を達成するために、次のような「目指す 学校像・生徒像・教師像」に従い、確かな学力・豊かな心・健やかな体をはじめとした、社会を生き抜く力の育成を図るとともに、地域に根ざし た存在感のある学校づくりに努める。 (1)目指す学校像 ア 全職員が同一目標に向かって何事にも全力で取り組む意欲と活気に満ちた学校 イ 生徒と教員が共に学び、能力に応じた教育を効果的に提供する学校 ウ 規律正しい学校生活を送り、地域や同窓生から愛され信頼される学校 A : 適切である 学校運営方針 (2)目指す生徒像 (運営方針) ア 互いに認め合い、高め合うことができる、豊かな心を身に付けた生徒 : 概ね適切である イ スポーツと文化芸術をとおして、知徳体ともにバランスの取れた生徒 ウ 自分の能力を信じ、努力することを最後まで諦めない生徒 : やや不適切である (3)目指す教師像 ア 教育活動全般にわたり利他の心を持って接する教師 イ 実践的指導力の向上を目指し、常に自己研鑽に努める教師 D : 不適切である ウ 常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような人間味豊かな教師 具体的目標 昨年度の成果と課題 年 度 重 点 目 標 「三潴高校ブランド」の実現に向けて邁進する 新型コロナウイルス感染症の影響 ・生徒の実態把握に努め、能力に応じた教育を効果的に提供する。 1 わかる授業による学力向上 により、様々な教育活動が制限され ・AL・ICT教育の効果的な活用により、授業の改善・充実に努め教科指導力の向上を図る。 ・スタディサプリ等を活用したアダプティブラーニングの推進 た。生徒と教職員が一体となり、感 染症予防に努め、進路実現へ向けた 2 進路実現に向けたキャリア教育の充実 ・3年間を見通した教育活動ロードマップを活用した、計画的なキャリア教育の推進 充実した取り組みを行い、素晴らし ・生徒一人一人のニーズを共有する場を設定し、第一希望の進路実現に向けた体制の整備 い実績を残した。部活動や生徒会活 動などでも、生徒が主体的に活動を 3 自律心を備えた心豊かな人間の育成 「時間の厳守」「さわやかな挨拶」「心を込めた清掃」を徹底することにより、規範意識・自尊感情を醸成する。 行い、その成果は素晴らしいもので ・自分で考え行動する力を付けることで、当たり前のことが当たり前にできる生徒の育成を図る。 ・常に率先垂範に努め、生徒の自主性が育まれるような生徒指導を目指す。 あった。 4 地域に開かれた学校づくりの推進 ·HPの更新、定期中学校訪問等戦略的広報活動に取り組み、学校全体で生徒募集に努める。との交流を活発化させる。 ・地域行事等にボランティアとして参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し、地域に開かれた学校づくりに努める。 全職員が同一目標に向かって、生 徒の能力に応じた教育を効果的に提 5 「スポーツの三潴」の充実・発展 ・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。 供することが必要である。そのため に、3年間を見通したロードマップ 6 自他の人間性を認めることによるいじめの撲滅 ・心を育む道徳教育の充実により、人としての使命感、責任感を持つ生徒の育成に努める。 を有効に活用することで、本校の課 ·SC,SSW,PTA等との情報共有を図り、いじめや不登校の防止に努める。 題である生徒募集に繋げたい。 7 高大接続の積極的な推進 ・青年年齢の引き下げに伴う状況変化を踏まえつつ、学校におけるキャリア教育を推進する。 ・青年年齢引下げを見据えた情報提供を適宜行い、発達段階に応じた消費者教育の充実に努める。 8 成年年齢の引き下げに伴う教育の充実 具 体 的 方 策 評価 (3月) 次年度の主な課題 学校関係者評価委員会からの意見 評価項目 具体的目標 項目ごとの評価 地元中学生や地域の方々に参加していただき、生徒がグループごとに作成した「学校(地域)紹介プ ┃ログラム」を発表する。それをもとにワークショップを行い、地域に根ざす学校の在り方を模索する とともに情報発信の強化に努める。 地域に根ざした学校づくりの推進 3年間を見通した教育活動(ロードマップ)を推進し、大学や地元企業との連携をとおしたカリキュ 特色ある学校 |ラムの工夫をとおして、地域社会に貢献する人材育成を目指す。 づくり スポーツ教室等、地域との交流を深めることをとおして、する・観る・支える・知る・極める生徒の 「スポーツの三潴」を中心にした魅力ある ┃育成を図り、「スポーツの三潴」の充実・発展を推進する。 学校づくりと活性化の推進 共生社会を視野に入れた実習等魅力あるカリキュラムの工夫と実践をとおして、生徒の学力向上と進路実現を図る。 教務部 wifi環境を利用しICT機器を使って積極的に知識の習得をする実践的な態度を身につけさせる。 CT等の新しい指導 **▼プロストリー マーロー マーロー マード アクティブ・ラーニングを活用した授業方** 法の研究と新たな成績 主体的・対話的で深い学びになるよう、授業の中で考え、疑問に思うことを他者と共有することによ 法の研究 処理システムの効果的 り、積極的なコミュニケーションをとりながら自らの知識を更に高める授業の実践を図る。 生徒自らが課題を発見し、その課題を達成するためのプロセスを教師が導き、その実践に全力を注ぐ 学習状況の把握と指導 効果の上がる学習指導と落ち着いた環境で の授業実践 世代の授業主法 生徒の授業評価を活用しながら、50分の授業に耐えうるわかる授業の研究を推進し、欠点者ゼロの 広報委員との連携を深め、PTA活動や学校の教育活動が見えるPTA新聞の作成を目指す。 PTA活動を活性化する。 PTA活動 魅力ある活動内容を計画し、PTA活動へ多くの参加者を募りたい。また、本校の魅力を保護者からも 同窓会活動 |広めてもらう関係作りを目指し、活性化を促す。 後援会活動 同窓会各支部会議および後援会指針の資料提示を念頭に置き、校内外での活動を効果的に紹介できる 同窓会・後援会との連携を大切にする。 よう整理し支援につなげる。 記録の収集と整理 創立100周年(2023)に向けた、資料の整理・保管に努める。 100周年行事の準備を行う。 スポーツ文化コースの特徴とともに、普通科一般教養コースの魅力と特徴が伝わる学校案内を作成す 毎月本校の教育活動が具体的に伝わる三潴ニュースを、定期的に作成する。 三潴高校の魅力と特徴が伝えられるよう、 学校行事や部活動の様子を生徒と協力してお活動の活躍などの不定期なトピックスを伝える三潴速報を、各部・各行事で担当の生徒を決め、タ 広報活動の活性化 ホームページに掲載する。 |イムリーに掲載する。 |ホームページをより充実させる。同窓会の協力を得て、広報誌の配布や掲示する場を広げ三潴高校の | 情報を発信する。 中学校担当者による各学期に1回程度の訪問を実施し、学校全体・職員一丸となって広報活動を展開 | 中学校との信頼関係の構築をめざした、中 学校訪問を実施する。 訪問先の中学校出身生徒の情報を具体的に伝え、本校のきめ細やかな指導を中学校側に理解してもら 中学校対策の強化 進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活躍の場と中学生とのふれあいの場を工夫する。 中学生に三潴高校の良さを知ってもらう。 |本校の学校行事に中学生を招待し、本校の魅力を中学生が体感する場を作る。 生徒部 端正な制服の着こなしや落ち着いた身なり「生徒の身なりについては、全職員で「その場でその時指導する」の共通理解のもと指導の徹底を図 を自ら整えることができる。 「地域の中の学校」として各学期の地域ボランティア活動や地域行事(城島まつり、酒蔵開き等)に積極 生徒の人間力の育成 的に参加し、地域貢献を果たす。 |全員で協力しチーム三潴として主体的に生 徒会行事に取り組む。 生徒会・各種委員会生徒を主体的に活動させ、魅力ある学校行事(地域中学生が参加する行事含む)を推し 時間厳守と挨拶の励行で風通しの良い人間 生徒自らが5分前行動の習慣化とワンストップ挨拶を励行することにより、自己責任感を養い、相手 関係作りを行う。 |を思いやる気持ちを育成する。 安心、安全な環境づく 教育相談等で気になる生徒の情報を共有し、全職員で組織的な対応を行う。 いじめや問題行動の未然防止・早期発見に を図ることで的確な早期対応に繋げる。 交通安全教室、二輪車実技講習を開催することで、、生徒の交通安全に対する意識を喚起る。 |交通マナー・モラルの||交通安全並びに登下校中の事故防止に対す PTA生活委員会と連携し、登下校指導や校外補導を推進する。通学マナー、危険箇所の情報を共有 る意識の高揚と態度を向上させる。 し、生徒の交通事故防止に努める。 集団としての基礎をしっかり作り、計画的で効率的な練習を行い、部活動として模範となる活動を実 各部活動生徒が安心、安全に日々の練習が行える環境づくりをしていくための支援態勢づくりを推進 計画的な活動と部活動生徒の支援体制強化 部活動の支援 生徒の人間力を高めるための活動が目的であるため、協調性や相手を思いやる態度の育成に努める。 「保健だより」を定期的に発行し、配布の際には保健委員会から連絡を行う。 生活実態調査や意識調査などを行い、その結果を入れるなど「保健だより」の内容について創意工夫 生徒保健委員会の充実と活性化 、健康面や安全面に関する関心や意識を高める。 保健管理 安全管理 校外研修に積極的に参加し、その内容を生徒総会等で発信する。 健康管理について集会等で注意を促し、保健室での休息は1時間という原則を守るよう徹底させる。 |保健室利用の生徒への対応 |保健室利用状況を担任、学年団に報告連絡する。 教育相談委員会を開催(毎月1回)し、課題を抱える生徒を把握し早期対応にあたる。 課題を抱える生徒への早期対応 課題を抱える生徒や保護者を、専門医療機関、専門職(医療カウンセラーやSC)に適切につなぐ。 教育相談 支援が必要な生徒を把握し、個別の支援計画・指導計画の作成と教育相談を行う。 特別支援教育の充実 職員研修や拡大学年会、授業担当者会等で支援が必要な生徒の情報を提供することで、全職員が共通 認識を持って適切な指導が行えるようにする。 環境美化週間の実施内容方法を見直し、環境美化に対する意識を高める。(学期に1回実施) 生徒美化委員会の充実と活性化 環境美化 清掃時間に音楽を流す等、毎日15分の清掃を確実に行う習慣をつけさせる工夫をする。 教務・生徒・学年との連携を図り、定期的な面談や進路希望調査により早期に進路希望を定めるとと 進路部 |第一希望での進路実現を目指す指導体制の |もに、目標に向かって努力させる。 進路希望に合わせた課外の実施と朝学習、模試を進路指導に活用する。 進学指導 スタディサプリ/スタディサポート/Ciassiの振り返り会・説明会を実施するとともに、外部研修の 情報の共有の推進 |内容を全体で共有する。 進学実績向上に向けた対策の推進 |各コースと連携しながら、情報提供と久留米大学を中心に高大接続の事業を提案する。 内定率100%の達成 総探や夏季休暇中の対策講座を活用するとともに、外部講師による勉強会を実施する。 公務員指導の充実 地域創造コースと連携しながら、保護者説明会、課外授業等効果的な指導・支援を進める。 就職指導 |インターンシップの充実 進学希望者にも広く参加を促し、事前指導と事後指導・報告会を実施する。 キャリア教育の視点からの総学・総探実施 キャリア教育推進委員会を学期に1回実施し、改善・工夫をする。 とPDCAの取り組みの推進 学年や教科と協力して計画的に総探を実施し、PDCAサイクルを回す。 キャリア教育 |キャリアパスポートを修正し活用する。 自己有用感の育成と生徒への「主観的成 長」への支援 家庭や地域社会との連携を深め、「社会参加」の意識を念頭に置いた進路行事を推進る。 若年教員1年目・2年目・3年目教員の各研修に対応した、必要な研修内容を検討し、分掌との 若年教員研修の計画的な実施 初任者研修 連絡を綿密に行い、効果的な研修を実施する。 一般教養コース |まえ、進路選択に有利な諸活動や受験方法、進路先を提示する。 特進クラス 各校の受験科目や方法、難易度について整理し、進路目標到達につながる様々な道を教師・生徒に提 福大・西南・看護系学校の研究 示し、進路実績向上に繋げる。 各教科と連携して一般教養を生徒に身に付けさせるとともに、朝課外・模試を活用し、進路指導の充| 公務員・就職対策の充実 実に繋げる。 地域創造クラス 地域学の授業内容・評価を検討する。また近隣地域の研究・大学での協働活動や協議を通して生徒の |地域学習、高大連携事業の推進 |知見を広げ、コミュニケーション能力を育成し、総合的な人間力の育成に繋げる。 学力到達度ゾーン(GTZ)D3層の生徒に対し、朝課外や放課後に対策講座を実施して担任・各教┃ 基礎学力向上 D3層の基礎学力の定着 |科と連携して基礎学力の定着を図りつつ、学ぶ姿勢を養う。 重点6競技の実績向上を図り「スポーツの スポーツ文化コース 全国大会30名・九州大会60名以上の出場を果たすとともに、チーム競技の実績向上を図る。 三潴」を県内外にアピールする 競技力向上 生徒の主体性を引き出す |体育科職員、クラス担任と連携を図る。スポ文集会を計画的に行う。 練習環境の充実 練習時間の確保。練習施設の充実。 地域小学校(大善寺小学校・西牟田小学校)で体力測定実習の補助実習を実施する。地域行事(城島 地域との連携を図る まつり等)に積極的に参加する。 魅力あるコース作 実習の充実と、魅力ある授業を展開する。 各実習を充実させ、チーム三潴の実現を目 週一回体育科会議を行い情報交換を行い、意見交換を行う。 人間的魅力の向上 学校行事、地域行事に積極的に参加する。 生徒確保 |スポーツ教室を充実させる。 より質の高い生徒の確保を行う 中学生の大会視察や中学校訪問を計画的に行う。 学習指導要領の改訂(令和4年度)に向けて教務課と連携し、教材等の計画的購入を行う。 事務関係 学びを通じた生徒の幸せを念頭に教育活動 |を快適な環境で行うことができるよう支援 |学校施設等の改修や教材教具の充実に努める。 教育環境の向上 オンライン授業等に対応するため、継続してICT機器等の整備を進める。 学校施設について5月末までに安全点検を行い、事故等の未然防止に努める。※衛生委員会と連携 生徒・教職員の安全安事故等の未然防止に努める 新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策については、保健環境課と連携して保健衛生用品の迅速 心の確保 |かつ計画的な購入を進める。 |生徒・教職員の安全確保、事故等の未然防止の観点から、防犯カメラの設置について検討を行う。 運営委員会等の場において、事務室の成果・課題を提示することで事務処理の透明性、信頼性を確保 | 円滑な事務処理の推進 | 円滑な事務処理に努め、教育活動を支援する | するとともに、課題を共有し改善につなげる。 業務改善の視点から、シルバー人材センター等外部委託業務の拡充やシステム・機器利用を進める。 評価項目以外のものに関する意見 自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

学校番号

福岡県立三潴高等学校長 殿

福岡県立三潴高等学校 学校関係者評価委員会 委員長 森崎 巨樹 印 委員 西田 鐵男 印

	学校関係者評価	委員会の評価結果を次の	のとおり報告します。					г		己評価に対する学校関係者評価委員会の評価
			<u> </u>	営 計 画 (4月)	いた売点いますの	+ し 一当 :	音効と担待エレい豊かな心を持つとともに が	評 価 (総 合)	E C C C C C C C C C	已 <u>評価に対する学校関係者評価委員会の評価</u> 自己評価は
		(教育目標)	校訓の精神を踏まえ、本校の課題を常に念頭に置き、本年度のコンセプト「何事も全力でやるから面白い!」のもと、学ぶ意欲と規律正しい豊かな心を持つとともに、グローバル化した社会の一線で何事にも怯まず、逞しく活躍する姿を夢に描くことができ生徒の育成に努める。 (1) 学ぶ意欲や自尊心、向上心やチャレンジ精神を高め、グローバル化に逞しく対応できる人材の育成							
学校運営	営方針	(運営方針)	(1)学ぶ意欲や自尊心、向上心やチャレンジ精神を高め、グローバル化に逞しく対応できる人材の育成 (2)生徒の特性に応じた明確な目標設定とそれを実現するための教科指導・進路指導の充実 (3)「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした礼儀正しく思いやりのある生徒の育成 (4)「スポーツの三潴」:スポーツが持つ「つながる力」を利用した、更なる学校全体の活性化と発展 (5)「チーム三潴」:生徒と職員は基より、PTA、同窓会及び地域との連携強化を図り、一体となった教育活動の推進 (6)「オンリー三潴」:これまでの伝統を生かした、ここでしかできない教育活動の推進							A الجارية الجارية الم
昨年度の成	果と課題		(7) 創立百周年に向け、新たな魅力ある学校づく 度 重 点 目 標		具 体 的	目相				A 適切である
ンティア活動、生		1 わかる授業による学:								B 概ね適切である
きと教職員が一体	本となり活動を行 青らしいものであ	2 進路実現に向けたキ		・ICT機器とアクティブラーニングの手法をマッチングさせた授業の工夫改善 ・ICT機器に対するスキルアップ ・各学年での取組の明確化による、計画的なキャリア教育の推進 ・生徒一人ひとりのニーズを共有する場を設定し、進路実現に向けた体制の整備に努める。 ・自分で考え行動する力を付けることで、当たり前のことが当たり前にできる生徒の育成を図る。 ・いじめや差別のない人権教育の推進					A	<u>~ 1₩1Φ₩3 A1 (A) 4</u> 0
」にふさわしい <mark>素</mark> した。また、和太	表晴らしい実績を は鼓部の地域への	(3年間を見通した。	具体的・系統的な実践) 立した生徒の育成						Α	
献は大であった。 課題】 本校の最大の課題	は、生徒募集の		徹底・挨拶の励行)	・「立ち止まり 一礼」による挨拶の徹底及び、端・SC、SSWの活用による教育相談体制の充実	_		C やや不適切である			
なる充実を図るこ	- とである。全職		三潴高校」の実現にむけて、学校全体で取組 の充実・発展	・地域行事等にボランティアとして積極的に参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し地域との交流を活発化させる。 ・地域の行政機関や大学との連携によるり、本校も地域振興の一端を担う。 ・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。						
がめるとともに、 句上に努めていく		(「する・観る・支	える・知る・極める」生徒の育成)	・健康教育と安全教育を推進する。 ・全職員が中学校訪問を定期的に行い、学校全体で	き生徒募集に努め	る。				D 不適切である
	7 高大接続に伴う久留			・適宜、学校HPや三潴ニュース、三潴速報を発行し配布することで、本校の教育活動の積極的な広報に努める。 ・大学との協力関係を深め、高大接続を積極的に推進する。 ・大学生との協働活動をとおして、コミュニケーション能力の育成に努める。						
		8 青年年齢の引き下げ		・青年年齢の引き下げに伴う状況変化を踏まえつつ ・青年年齢引下げを見据えた情報提供を適宜行い、	発達段階に応じ	た消費者教	育の充実に努める。			
評価項目	具体	的目標	具体 地域の行事に積極的に参加するとともに、PT	的 方 策 A、地域を巻き込んだ学校行事を成功させる。	評価 C	(3月)	次年度の主な課 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影様々な学校行事、コース行事等を実施するこ	響を多大に受け、	徒	学校関係者評価委員会からの意見 コロノ何にのいる社会変化が地域の課題を入さい。 のアイディアやIT、SNSの活用で地域と交流を行っ
特色ある学校	地域に根ざした学	校づくりの推進	大学や地元企業との連携をとおしたカリキュラ 成を目指す。	ムの工夫をとおして、地域社会に貢献する人材育	C	, n	あった。特に、高大連携、地域行事等の参加等は、参加する機会がなく、地域との連携等きない1年間となった。次年度は、今年度の	やボランティア活動 を図る場の設定がで	機	。(youtubeで地域の魅力動画作成) 感染症の流行は予想できなかったことであり、地域 会がなくなったことは致し方ないことである。次年
づくり	「スポーツの三潴」 学校づくりと活性・	」を中心にした魅力ある (火の推進	スポーツ教室等、地域との交流を深めることを 徒の育成を図り、「スポーツの三潴」の充実・	とおして、する・観る・支える・知る・極める生 発展を推進する	A A		型コロナウイルス感染症の影響が継続するこな地域との連携事業を創造し取り組んでいく	とを想定した、新た	る ・	影響が継続することを想定し、新たな連携事業をほところは素晴らしい。 コロナ禍で行動が制限される中、ソフトボール部のスポーツの三潴」の充実・発展への成果は出たと思
教務部	子校りくりと治住		実習等魅力あるカリキュラムの工夫とを実践を 各教科でアクティブ・ラーニングを活用した指		A A		新型コロナウイルス感染拡大による全国一			
	授業方法の研究	ニングを活用した新しい		した効果的な授業が提供できるよう、授業研究に	A	A	い、年度当初、オンライン授業(youtube動画が家庭で安全に勉学に取り組むシステムを初学力保証とまでは至らなかったが、各教科・科	めて行った。十分な 料目で工夫を凝らし、	Α	
ステムの効果的活用		基準・評価方法の明確化	観点別評価を実施する上での各教科・科目毎の		A		いかにして分かりやすい動画をつくれば良い ね、納得のいく形に作り上げることができた からは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんど	。学校が再開されて		
カあるカリキュラ <i>↓</i> 検討			学習に対する興味・関心を高めるために、観点 新学習指導要領の導入に向けた具体的なカリキ		A A	A	授業再開に期待を膨らませ、意欲的に学習にれた。また、全教室に電子黒板が配置された教科で積極的なICT機器を使った授業が展開さ	取り組む姿勢が見ら ことに伴い、全ての されるようになった。	A	
習状況の把握と指導	効果の上がる学習	指導と落ち着いた環境で	個に応じた学習指導の具体的な取り組みとフィ	ードバックの実践。	A	Δ	── これにより生徒達の教科·科目に対する興味· はないかと考察する。 令和4年度より実施される新学習指導要領	関心も高まったので	A	
	の授耒夫成		口の実現を目指す。	に耐えうるわかる授業の研究を推進し、欠点者ゼ 	В	^	会議、カリキュラム検討委員会、学校活性化 0周年の節目を迎え、これからの三潴高校の ニーズや進学状況を鑑み、新たなカリキュラ	委員会にて創立10 更なる発展と生徒の		就職内定、進学合格一覧について、しっか 「出ていると感じる。 中学生や保護者(中学)が木校に関心を持
吸活動の充実と創立 ○ 0 周年に向けた準	_# 小一ムハーンや中-	学校訪問などの広報活動 0周年に向けた準備	候極的な中学校訪問、学校説明芸の美施をとおした仏報活動の美践。			A	できた。その結果、様々な進路希望に対応で できた。今後、新たに設定した学校設定科目 らに他教科・科目の教科書選定に向け検討にノ	きるより良いものが の準教科書選定、さ	A 情イ	中学生や保護者(中学)が本校に関心を持 情報発進にもう少し力を入れるべきである。 ゲィアを活用してはどうか。
			創立100周年に向けた段階的な準備を行う。 スポーツ文化コースの特徴とともに、普通科一	般の魅力と特徴が伝わる学校案内を作成する。	A A		本年度、これまでにない定員割れにより、 (1月18日現在)の在籍となっている。来 校をもっと対外的にアピールし、入学定員を	1年生は101名 年度に向け、三潴高	・ な	昨年の定員割れから、本年の入学者の確保 る中、コロナの影響により、なかなか思し 組みができず、学校も試行錯誤の活動にな
n :		の様子をタイムリーに伝	毎月本校の教育活動が具体的に伝わる三潴ニュ 部活動の活躍などの不定期なトピックスを伝え		A		校をもっと対外的にアピールし、人学定員を 課としても策を練ってきた。コロナ禍の中で 中学生の体験入学を実施し、学区内の中学校 校内の入試説明会も行った。中学校の先生方	きる限りの範囲内で 向けに希望に応じ、	は 入	tないか。また、感染対策を講じながらの存 ∖試説明会等、コロナ禍においても可能な箪
報活動の活性化		徒と協力してHPに掲載す	部活動の活躍などの不定期なトピックスを伝えめ、タイムリーに掲載する。 中学生や保護者向けの学校説明会の内容を充実		Α Α	A	る機会ができ、そのことによりお互いの生徒 でき、様々な他の情報を得ることができた点	の情報を知ることが では、非常に得るも	A s	られたことが志願者数の向上につながった <i>0</i> ゝ。
			ホームページの充実と同窓会の協力を得て、広	報誌の配布や掲示する場を広げる。	A A B		のが多かった。さらに、本校からは検定試験 躍、進路情報に関するニュース速報を不定期 ニュースを月に1回定期発行することで、本	に発信し、三潴		
	中学校との信頼関係の構築をめざした中学 校訪問を実施する。		訪問先の中学校出身の生徒の情報を具体的に伝え、本校のきめ細やかな指導を中学校側に理解し				した学校生活の様子を伝えることができた。 久留米大学との高大連携による地域学が、 ウイルス感染予防による臨時体業や三部の回	避に伴い思うように		
学校対策の強化		-	てもらう。 進路相談事業や中学生体験入学で本校生徒の活	躍の場と中学生とのふれあいの場を工夫する。	A .	A	実施できなかった。高大連携のみならず、地 もできず、様々な行事が中止となる中で、今 イルスが収束に向かうまでの不確かな期間を	後この新型コロナウ	A	
或創造コースとの ^{演進}		の良さを知ってもらう。 広報活動に取り入れる。	本校の学校行事に中学生を招待し、本校の魅力 地域学での取り組みや地域創造コースの活動を		A A B R	R	めていくかを検討していく必要がある。 		-R	
生徒部		 なしや落ち着いた身なり		その時指導する」の共通理解のもと指導の徹底を	A A		### 新型コロナウイルスの感染拡大の影響から生活では、生活環境もこれまで経験したことのないものには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	のとなってしまった。		
徒の人間力の育成	生徒会行事を全員	で協力してオンリーワン	「地域の中の学校」として各学期の地域ボランテ 積極的に参加し、地域貢献を果たす。	ィア活動や地域行事(城島まつり、酒蔵開き等)に	В	A	の心のケアに教職員も大きな不安を感じていた。 降の生徒の登校に際しての衛生管理においては、 全職員で教室などの消毒をはじめ、生徒達に対	また、5月25日以 保健環境課を中心に	Α	
	のものを創る。		生徒会・各種委員会生徒を主体的に活動させ、魅を推進する。	力ある学校行事(地域中学生が参加する行事含む)	A		着用、検温など様々な対応をおこなった。生徒も 力のおかげをもち大きな混乱もなく学校生活も に関しては、1学期から2学期の中盤までは全体	達や保護者の理解と協 再開できた。学校行事		
	時間厳守と挨拶の関係作りを行う。	励行で風通しの良い人間	生徒自らが5分前行動の習慣化とワンストップ いやる気持ちを育成する。	挨拶を励行するなど自己責任感を養い、相手を思	A		となったが、体育柏葉祭は規模を縮小し内容を た。3年生を中心に強い結束力が生まれ、心に 地域の行事においても中止となり、ボランティ	情選しての開催であっ		
心、安全な環境づく	いじめや問題行動の未然防止・早期発見に 努め、的確な早期対応と組織的な対応を行		教育相談等で気になる生徒の情報を共有し、全職員で組織的な対応を行う。		A A	A	かった。 部活動では、各種目ともに全ての公式戦が中」 が無観客で行われた。そんな中でもカヌー部は		A	
	j.	73.6 2 1212/2/3 00/3/0 213	いしのアンゲート、学校生活アンゲートを実施し、生徒の状況把握を行うとともに、職員の情報 共有を図ることで的確な早期対応に繋げる。 交通安全教室、二輪車実技講習を開催することで、、生徒の交通安全に対する意識を喚起する。		Α		たしたり、ソフト部は新人戦において県大会で 年以上の結果が出ている。学校再開後の生徒達の 落ち着いた態度で授業も行われており、問題行動	の生活は、乱れもなく 動や大きな交通事故の	あ	今年度は、生徒たちと接する機会が少なく うったが、これまでも感じていた「挨拶」の
通マナー・モラル <i>の</i> 上	交通安全並びに登下校中の事故防止に対す る意識の高揚と態度を向上させる。		PTA生活委員会と連携し、登下校指導や校外補導を推進する。通学マナー、危険箇所の情報を 共有し、生徒の交通事故防止に努める。		A	A	発生もなく良好な状態が保たれている。気になる 通学生徒の交通マナーで学校近隣の住民の方々が られた。学校としても重く受け止め、全校生徒!	から数件の苦情が寄せ こ対して交通社会の一	A >	には健在であった。また、掃除の大切さ素暉 いいて、何のために掃除が大事かをしっかり でしい。
			共有し、生徒の交通事故防止に労める。 集団としての基礎をしっかり作り、計画的で効率的な練習を行い、部活動として模範となる活動 を実践する。				■ 員として交通マナーの順守や交通モラルの重要性た。また、苦情を頂いた場所へ職員を派遣し交流に、PTA生活委員会の皆さんのご協力を頂き生活。	通指導を行うととも の登下校の時間帯に校	は	行事の中止が続く中、体育柏葉祭を開催で は、生徒や先生方にとってとても思いで深し §になった。また、学校再開校後に交通マナ
活動の支援	計画的な活動と部	活動生徒の支援体制強化		る環境づくりをしていくための支援態勢づくりを	A A	A	門での挨拶運動と交通指導を行い、生徒たちのま 今年度は、時間厳守とさわやかな挨拶、心のこ 生徒が落ち着いた学校生活を送る習慣が身に付い	もった清掃活動により いてきている。その事	人 導	「寄せられたことに対する対応は、挨拶運動 「により、意識の高揚や緊張感を持たせるこ
				ため、協調性や相手を思いやる態度の育成に努め	A		を来年度も継続させるとともに、生徒部として生めの取組を行っていく。 保健環境課としては、教職員の協力のもと生行れるのである。 イルス感染防止と予防対策をできる限り実施した。	走たちの新型コロナウ	-	:のではないか。 学校生活を楽しく送れる生徒が、一人でも :とが、学校の目標であり学校の魅力につな
			「保健だより」配布の時、保健委員会から発信		A		発刊においても保健委員会を中心に生活実態調査 い、例年以上の取り組みができた。ただし、校外 イルス感染拡大のため全ての研修会が中止となる。	査や意識調査などを行 ┣━ 外研修は新型コロナウ ┣━	<	ごと思う。そんな中、不登校生徒や長期欠原 減少させたことは、素晴らしいことであり 話を前向きに過ごしている生徒が増えた結り
保健管理 安全管理	生徒体健安貞芸の元美と活性化し、健康で		生活実態調査や意識調査などを行い、その結果し、健康面や安全面に関する関心や意識を高め	る。(毎月1回発行)	A A	A	とができなかった。毎月1回の教育相談委員会、 会は計画通りに実施することができた。また、 クールカウンセラーの配置がなされたので会議	いじめ防止対策委員 本年度から各高校にス	Δ 1.	uる。 部活動の卒業生をもっと活用すべきではな
	保健室利用の生徒への対応		校外研修に積極的に参加し、その内容を生徒総 健康管理について集会等で注意を促し、保健室 状況を担任、学年団に報告連絡する。	会等で発信する。 での休息は原則1時間を徹底させる。保健室利用	B A A		助言を受けた。今年度は通級へ通う生徒もいなか 中学校からの気になる生徒の情報を収集する事が いて情報の共有を図り支援体制づくりを行う事が	かったが、年度当初に ができ、職員研修にお	75 ム	:、練習スケジュール等の部活動に関する情 ♪ページで随時確認できるようにこまめな更 『はないか。
	課題を抱える生徒・	 への早期対応	教育相談委員会を開催(毎月1回)し、課題を	抱える生徒の把握と早期対応にあたる。	A		出てきた気になる生徒に対してクラス担任を中が リングを受診させたり、必要に応じてスクール、 繋いだりしたことで、不登校生徒や長期欠席者。	ソーシャルワーカーへ といった といった といった といった といった という といった という という という という という という という という という という		
育相談			課題を抱える生徒や保護者に対して、専門医療機関を紹介 支援が必要な生徒の個別の支援計画・個別の指		A A	A	きく減少させる事ができた。1学期の美化週間に施することは出来なかったが、2学期は予定通りまり美化週間を実施できたことで、環境美化電	り美化委員会が中心と 哉を高める事ができ	Α	
	特別支援教育の充	実	職員研修や拡大学年会、授業担当者会等で支援 把握し適切な指導が行えるようにする。	が必要な生徒の情報を提供することで、全職員が	A		た。また、本年度から清掃時間に音楽を流すこのできている。新型コロナウイルスの感染拡大はいが、保健環境課として生徒たちの感染拡大を関係を発展していた。	いまだ収まる気配はな		
境美化	生徒美化委員会の	充実と活性化	美化コンクールの実施内容方法を見直し(ゴミ (学期に 1 回実施)	の分別など)、環境美化に対する意識を高める。	A A	A	──対策の要としてしっかり取り組んでいく。 		A	
\\			清掃時間に校歌(音楽)を流すなどをして、毎 教務・生徒・学年との連携を図り 定期的な面	日15分の清掃を確実に行う習慣をつける。 談や進路希望調査により早期に進路希望を定める	A		進学指導については、第一希望での進路実現			
進路部	第一希望での進路 確立	実現を目指す指導体制の	とともに、目標に向かって努力させる。 進路希望に合わせた課外の実施と朝学習、模試		A A		年との連携を密に行い、早期の進路希望把握と とることができた。課外、朝学習、模試等を計 必要な学りの伸長を図ることができた。情報の記	画的に実施し、進学に 共有については、スタ		
学指導	情報の共有の推進			・説明会を実施するとともに、外部研修の内容を	ВВ	A	ディサプリ到達度テストの振り返り会を実施し、 状況を共有することができたが、外部研修の内 た。 就職指導については、内定率100%を目指して	容の共有はできなかっ	Α	
	進学実績向上に向けた対策の推進		スポーツ文化コースとも連携しながら、情報提供と提案を行う。 総学や夏季休暇中の対策講座を活用するとともに、外部講師による勉強会を実施する。				就職指導については、内定率100%を目指して 1月末現在で96.6%が内定を実現することができ 	きた。残る生徒につい ウイルスの感染拡大の	:	実績一覧を見る限り、成果は出ている。 この時期に内定率が高いことから、生徒へ
職指導	内定率100%の達成 公務員指導の充実			に、外部講師による勉強会を実施する。 部教材や外部講師も活用した効果的な指導・支援	В А А	A	影響もあり、外部講師を招いての勉強会は実施でた。公務員対策については、地域創造コースとの効果的な活用を行い、警察官、自衛官に合格者でインターンシップは、感染拡大により夏に実施で	の連携と課外授業等の を出すことができた。	Δ 行イ	fき届いていることがわかる。生徒が育ち三 ′メージもよくなりうれしく思う。
	インターンシップ		進学希望者にも広く参加を促し、事前指導と事		A		たが、冬季休業中に実施することができた。 キャリア教育については、1年生からキャリア た。1年間を検証し、3年間を見通した活用を図り	パスポートを導入し りたい。地域社会との -	1 -	進学実績をもっとPRすべきである。街中な 掲示するなど工夫が必要ではないか。
ヵ川マ歩女	キャリア教育の視 とPDCAの取り組みの	点からの総学・総探実施 の推進	キャリア教育推進委員会を学期に1回実施し、改 学年や教科と協力して計画的に総学・総探を実		<u>В</u> В		連携については、感染拡大の影響により実施するた。 初任者研修における一般研修では、各分掌の発	ることができなかっ た生方のご指導をいた	В	
ャリア教育	自己有用感の育成 長」への支援	と生徒への「主観的成	キャリアパスポート・eポートフォリオを活用す 家庭や地域社会との連携を深め、「社会参加」	·	ВВВ		だき、効果的な研修を実施することができた。 員が他校の教諭であったため、連絡調整に務め、 できた。研修の一つである課題研修は3年間に	受業研修は、教科指導 円滑な研修の実施が	ט	
任者研修	初任者研修の計画	的な実施	初任者・教科指導教諭及び各分掌との連絡を綿	密に行い、初任者研修を円滑に実施する。	A A	A	いくので、次年度以降も支援していきたい。学習指導面では、アクティブ・ラーニング	やICT機器を活田	\overline{A}	
学年コース統括 学年コース統括 学年	学習指導の充実を		生徒の主体的な学習活動を導くアクティブ・ラい、進路目標が達成できるだけの学力をつける		A A	A	した学習指導はほとんどの先生が熱心に取りる。研究授業や相互授業参観週間でノウハウ 果である。今後の課題として、家庭学習の習	組み実践できてい を取得できた点は成	Α	
	学習に向かう姿勢の		チャイム席など基本的な学習準備を生徒に徹底 上の達成目標を設定することで、学習に対する 挨拶、清掃、行事など生徒が主体的にできるよ		ВВВ		は、	いきたい。 し、落ち着いた学校		問題行動の件数が減少し、運営方針でもあ
徒指導	規範意識を向上さ	± 7		ルーム活動や学年集会を活用するだけでなく、学	B B	A	生活を送ることができている。爽やがで立ら込めた清掃などの行為を進んで行う生徒が増進路に関するデータ分析や進路先の特徴を十分に伝わる方策が求められる。キャリア教	えた。	A ^守 増	ける。 いるでは、では、では、できましている。 いったことは、素晴らしいことだと思う。 が行き届いている証拠だと感じる。
	進路研究の充実を			を把握し、よりよい進路選択と進路実績の向上が	ВВ		────────────────────────────────────	243名の合格者を 243名の合格者を 243名の	 う	まか行き届いている証拠だと感じる。 検定取得では、例年何名程度が合格してし が。推移を示せないか。
路指導	キャリア教育を充	実させる	課外授業の充実、総学やガイダンスの活用を中 キャリア教育を実施する。	心とした進路学習の充実をとおして、計画的に	ВВВ	В	出すことができた。生徒たちは本当に頑張っ 定試験でもよい結果になると期待している。 学校や関係機関にもアピールして、普通科ー 繋げなければならない。	この結果を、関係中	В	
年間の連携	学年主任間の連携		各学年の課題を共有化し、問題解決の方策を検	討し、管理職に報告・相談し実行していく。	ВВВ	В	繋げなけれはならない。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イ	ンターハイ (カ州ナ	В	
スポーツ文化コース 技 力向上	三潴」を県内外に			果たすとともに、チーム競技の実績向上を図る。	Α Δ	Α	新空コロデリイル人感染拡入の影響で、イ会・全国大会)が中止となったが、県大会にの準優勝など競技力向上を図ることができたスポ文集会を年度始めに計画的に行うことに	おいてソフトボール 。	A	
- -	体力強化を組織的生徒の主体性を引		部活動顧問と連携を図る。(専攻実技と連携を 体育科職員、クラス担任と連携を図る。スポ文		A		コースの生徒としての自覚を高めることがでた。小学校体力測定補助実習や地域行事につ	きたことは良かっ いても、新型コロナ		二滩古特のサナター・マー・マー・
りあるコース作	地域との連携を図	 გ	地域小学校(大善寺小学校・西牟田小学校)で (城島まつり等)に積極的に参加する。	体力測定実習の補助実習を実施する。地域行事	C C		── ウイルスの影響を受けて実施することができ 体育科会議を週一回開催することができ、 できた。 □ コロナ禍の状況下でもスポーツ教室を開催	体育科の意志統一が	D が	三瀦高校の魅力の一つでもある「スポーツ こついては、コロナ禍の中、調整も難しかっ 、、今年度もしっかりと結果を残している。
• 11	各実習を充実させ、 目指す	、オンリー三潴の実現を	実習の再検討と、魅力ある授業を展開する。 週一回体育科会議を行い情報交換を行い、意見	 交換を行う。	A A	B	コロナ禍の状況下でもスポーツ教室を開催な生徒を確保する面でも大変助かった。 本格的な陸上全天候型舗装工事と野球場防	球ネット等改修工事	D ၆	、 しいと感じる。新年度も「スポーツの三濱 子楽しみにしている。
	より質の高い生徒の	の確保を行う	スポーツ教室を充実させる。中学生の大会視察 生徒の使用方法と管理の徹底を行う。	を計画的に行う。	A A				Δ	
	ハード面(施設)(の充実を図る	体育科会議で要望を聞き事務室と協議しながら		A A	A	- 新刑コロナウノリュ 成物 ゲエ ヘビ細 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	北域創進万二フリカ の	A	
也域創造クラス	地域学の内容の充	実を図る	年間学習授業計画に従い、地域学を実施し、記 地域学担当者の会議を定例化し、授業内容の改		<u>А</u> В_	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、本校 米大学経済学部との高大連携事業並びに地域行 島ふるさと夢祭り、三潴祭、城島酒蔵びらきなる たことは残念でならない。「地域の中の学校」。	事(エツ祭、久留米城 ど)に参加できなかっ	В.	コロナ禍において地域との連携ができなか
域学の研究と推進	実習の充実を図る		大学における地域学を研究するとともに、教育 地域フットパスの作成に向けて、地域の産業、		C C	1	たことは残念でならない。 地域の中の字校」。	・地域の活性化に寄与 句けた準備を行えたこ -	- 	t念に思うとともに、コロナが収束し、地域 工生徒の生き生きとした笑顔と挨拶で元気を
域学の研究と推進 	山地域の子省をとお	して、地域とのうながら	城島町、大木町の各種イベントにおけるボラン		C B	В	とは非常に意義がある。二潴字で地域を代表する 講義を行っていただいた。また、久留米大学と 業や活動の取り組みについて協議することがで	はZOOM等を活用して授 きた。「ピンチはチャ	B ·	、い。 _生徒ならではのアイディアを活用し、地域 E実・発展させてほしい。
域学の研究と推進	を深める		地域へ業のの私地にでいる。		2	J		していく。		
域交流の推進	を深める 地域の活性化に寄 高大連携を活用し	与する	地域企業の C M制作に取り組み、地域の広報を 大学や高校で講義を受けることによって、生徒	生徒が行う。	C C	n	ンス」と捉え、今後の内容充実に向け鋭意努力 公務員対策を充実させていくことが必要である。 は、佐賀県警、福岡県警と自衛隊5名の合格実 職に合格できていないことは残念であり、教養利	ると考える。本年度 遺である。消防や事務	l	、いと思う。今の課題を充実させ、より質 <i>の</i>
域交流の推進 大連携の推進	を深める 地域の活性化に寄	与する 、主体的に活動できる生		生徒が行う。 に知見を広げさせる。 総合的な人間力の育成につなげる。	C C C B B	В	ンス」と捉え、今後の内容充実に向け鋭意努力 公務員対策を充実させていくことが必要である。 は、佐賀県警、福岡県警と自衛隊5名の合格実統	ると考える。本年度 責である。消防や事務 詳目を連動させた質の 哉指導を担当する教員 と実感する。就職実績	B b	就職難な状況の中、大会実績を残しておりいと思う。今の課題を充実させ、より質の 、講じられていくことを願っている。 今後も地域の祭りには、是非参加してほし